

様式4

令和8年度 第1回大津市公設地方卸売市場運営協議会の会議結果

1. 開催日時 令和8年8月27日（木）午前10時30分から午前11時20分まで

2. 開催場所 大津市公設地方卸売市場 大会議室

3. 出席者 15人 委員 8人（欠席5人）
事務局 6人
傍聴者 1人

4. 議事

（1）会長及び副会長の選出

（2）持続可能な卸売市場のあり方について

① 他市場の現状及び国の考え方について

② 大津市場の入場業者個別面談結果（速報版）について

【質疑応答等】

委員：入場業者個別面談のQ4、指定管理者制度に関する回答について、各選択肢に関してどのような理由・意見が述べられたのか、教えていただきたい。

事務局：「1」の前向きに検討すべきという回答は2社。卸売市場を取り巻く環境が厳しさを増す中、（大津市場も）変わっていかねばならない。民間の力を活用した運営手法に舵を切るべきだという考えである。指定管理者制度と公設公営のそれぞれのメリット、デメリットを比較検討し、大津市場の特色や強みを生かすためには、民間の力で運営する方がよいという意見であった。

「2」の時間をかけて検討すべき（6社）及び「4」のその他（9社）の理由は共通点がある。メリット、デメリットを理解した上で、大津市場にとってどちらがよいのかを判断しなければならないが、現時点ではまだその判断に至らず、もう少し時間をかけて他市場の現状等を勉強した方がよいという意見が多かった。

「3」の公設公営を維持すべきとの回答は9社。引き続き、公設公営の公共性・信頼性をもって運営していくべきとの意見であった。

委員：要望である。トイレの洋式化は喫緊の課題であり、優先順位を高く対応願いたい。

委員：（施設改修の優先度について）夏の酷暑の中の生鮮食料品の取り扱いを踏まえると、入場業者の皆さんの底の拡張・増設の要望は非常に大きい。市場のコールドチェーンについてどのように対応していくのかということについて、当協議会でも引き続き情報

を共有していきたいと考える。

－ 以上 －